


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立八王子特別支援学校		基	通学区域	八王子市（鹿島、松が谷、大塚、東中野、堀之内、越野、松木、別所、南大沢、上柚木、下柚木、中山、鍮水、南陽台を除く）			
	4-4-4(4年ごとの区切り)の実践 わかって動く(Step1)・考えて動く(Step2)・責任を果たす(Step3)			進路実績	一般就労率39%(主な就労先: ㈱三越伊勢丹ソレイユ、東電ハミング㈱、オーエム通商㈱、ブリヂストンチャレンジド㈱、コニカミノルタウィズユー㈱など)			
基	所在地	〒 193-0931 八王子市台町三丁目5番1号	本	情	報	教育課程の特徴	①	小中高で一貫した「ことばの力」の伸長とコミュニケーション能力の向上
	アクセス	(1) JR中央線・八王子駅南口 京王バス7番乗り場から 上野町三丁目下車徒歩5分					電話番号	042-621-5500
(2) JR中央線・西八王子駅南口から 徒歩20分		副籍実施状況	直接交流(小学部37.4% 中学部10.2%) 間接交流(小学部32.3% 中学部36.4%)				③	4-4-4によるシラバスの活用と態度の評価表の反映による各教科等を合わせた指導の展開
(3) 京王高尾線・山田駅から 徒歩15分							④	(高等部)2年生からの類型化による個に応じた就労の実現
設置学部	小学部、中学部、高等部(普通科)	学校評価	回答率(保護者96%、高等部と中学部の一部の生徒97%、地域54%)、「児童・生徒は学校に楽しく通っていますか。」の質問に肯定的評価をしている保護者の割合は95%。				⑤	八王子市教育委員会と連携した「特別支援学級との専門性向上プロジェクト」の実施
幼児・児童生徒数	402名(小学部155名、中学部88名、高等部159名)	ホームぺージ	http://www.hachioji-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/					
学級数	72学級(小学部32学級、中学部17学級、高等部23学級)							
スクールバス	11台(みなみ野 元八王子 寺田 陣馬 石川 川口 藤倉1 藤倉2 大和田 恩方 北野)							
その他	エリアネットワークのセンター校。第三次特別支援教育実施計画で、平成32年に東浅川町に移転の予定。平成30・31年度人権尊重教育推進校。							

目指す学校
 ・児童・生徒の人権を尊重し、一人一人に応じた専門的な教育を推進することにより、豊かな人間性や社会性を育み、地域社会の一員として社会参加・自立できる人材を育成する。
 ・特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域との連携の中で、共生社会の文化を地域に築くための理解啓発を推進し、児童・生徒の社会参加を促進する。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	4-4-4による一貫した指導の充実 ・4ベース(実態把握・教育環境・手だて・動機付け)を整えた教科指導の充実 ・アセスメントによる「ことば」の表出力の伸長 ・4-4-4(4年ごとの区切りの実践)によるシラバスの活用と態度の評価表の反映による各教科等を合わせた指導の展開	・児童・生徒の自発的な活動のために、4つの基盤(実態把握、教育環境、手だて、動機づけ)を必ず授業で整え、教科の目標を具現化するための授業研究に取り組んだ。 ・言語機能アセスメントやJ-sKepアセスメント等を実施して、児童・生徒の言語の状態を正確に把握し、一人一人に応じてことば(代替手段含む)の表出力を伸長した。 ・『態度の評価表』に基づいて、各教科等を合わせた指導の年間指導計画を作成し、4-4-4-1による行事や学習の指導に取り組むことで、児童・生徒の態度を育成することができた。	
目標②	共生社会の文化を地域に築くための理解啓発 ・八王子市教育委員会と連携した「特別支援学級との専門性向上プロジェクト」を実施し、地域の特別支援学級の専門性向上に資する。 ・副籍事業における間接交流から直接交流への移行 ・学区域内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、大学の相談や研修を支援する。	・連携中学校での授業観察を複数回実施し、必要な支援の在り方を協議した。また、協議内容を基に、視覚的な支援を取り入れたICT教材を作成し、モデルとなる改善授業を実施した。 ・副籍交流の充実に向けて、出前授業における学級担任の関与を増やした。また、必要に応じて特別支援教育コーディネーターによるフォローを充実させ、理解啓発の促進を図った。 ・幼稚園・保育園を対象とした講習会を実施した。また、講習会の報告書を市内全園に配布するなど、就学前における特別支援教育の推進を図った。	
目標③	適正かつ合理的な組織運営と事故防止の徹底 ・児童・生徒のロールモデルとなり、「わかって動く、考えて動く、責任を果たす」の実行 ・プロジェクトチームによる迅速で効果的な学校課題の解決 ・個人情報紛失事故防止の徹底など、「サービス事故ゼロ」の徹底 ・ハ特スタイル(働き方改革)を明確にし、効率的な業務遂行の促進。	・研修等とおし、児童・生徒のロールモデルとなるよう、自らを振り返り、丁寧な対応と挨拶の励行に努めた。 ・働き方改革、研究研修、オリパラ等、喫緊の課題解決のためのプロジェクトチームを立ち上げ、迅速に課題を洗い出し、解決への道筋を明らかにした。 ・服務研修を年11回実施、処分公表の校長自らの周知等、意識向上に努め、サービス事故ゼロを達成した。 ・都庁ルールに合わせ、教職員の働き方改革に取り組み、毎月の18時退勤日の設定や、毎日18時に教職員の帰宅を促すため、職員室の消灯を行った。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	・授業を担当する全教員による研究授業の実施	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			
目標②	・学区域内幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、大学への相談・研修実施	15回	22回	28回	26回	21回	22回	40回	42回			
目標③	・企業就労を希望する生徒の就労率を100%に近づける。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			

東京都立八王子特別支援学校の特色

本校は、昭和41年4月に開校した知的障害のあるお子さんのための特別支援学校です。小学部・中学部・高等部とも一人一人を大切に、能力・特性に応じたきめ細かな指導を心がけています。

【教育活動の基本的な姿勢】

はちとく actionplan

4-4-4 (4年ごとの区切り) の実践

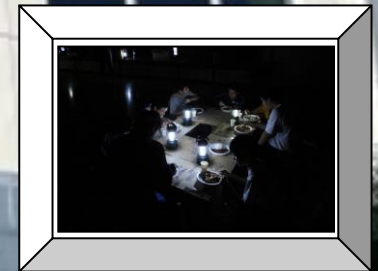
Step1

Step2

Step3

わかって動く・考えて動く・責任を果たす

- 富士森公園など緑に囲まれた教育環境を生かして学習しています。
また、小学部から段階に応じたキャリア教育を推進しています。
- 定期健康診断の他に健康相談や精神科相談など専門医による適切なアドバイスが受けられます。
- お子さんの実態に合わせて一人通学の指導をしています。
また、小・中学部の通学の困難な児童・生徒のためにスクールバスを運行しています。
- 第七小学校・第六中学校との交流及び共同学習のほか、居住する地域の小・中学校での副籍交流を積極的に行っています。
- 特別支援教育に関する、相談、研修、情報提供等、八王子におけるセンター的機能を果たします。



高等部 宿泊防災訓練



小学部 第七小学校との交流



小学部 高尾山遠足



中学部 校外学習



中学部 作業学習 (紙工班)



高等部 作業学習 (喫茶班)